

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年7月20日(2006.7.20)

【公開番号】特開2004-131466(P2004-131466A)

【公開日】平成16年4月30日(2004.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2004-017

【出願番号】特願2003-158552(P2003-158552)

【国際特許分類】

A 6 1 K 33/36 (2006.01)

A 6 1 K 31/7056 (2006.01)

A 6 1 K 33/24 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

B 6 5 D 77/24 (2006.01)

A 6 1 K 38/21 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 33/36 Z N A

A 6 1 K 31/7056

A 6 1 K 33/24

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 31/12

B 6 5 D 77/24

A 6 1 K 37/66 G

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月2日(2006.6.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 フラビウイルス科のウイルスによる感染症を治療するための化合物であって、下式：

$$A w B x C y D z$$

(式中、

AはLi, Na, K, Rb, またはCs;

BはAs, Sb, またはBi;

Cは酸素原子または硫黄原子;

Dはモノドント酸配位子、ビドント酸配位子、またはトリドント酸配位子;

wは0, 1, 2, または3;

xは1, 2, 3, または4;

yは0, 1, 2, 3, 4, または5;

zは0, 1, 2, 3, 4, または5; および

y および z のうち少なくとも1つは0でない)

を有する化合物。

【請求項2】 w および z がそれぞれ0である請求項1に記載の化合物。

【請求項 3】 x は 2 で y は 3 である請求項 2 に記載の化合物。

【請求項 4】 B は A s である請求項 3 に記載の化合物。

【請求項 5】 B は S b である請求項 3 に記載の化合物。

【請求項 6】 B は B i である請求項 3 に記載の化合物。

【請求項 7】 y は 0 である請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 8】 D はモノデント酸配位子である請求項 7 に記載の化合物。

【請求項 9】 B は A s または S b であり、w は 0, 1, または 2 である請求項 8 に記載の化合物。

【請求項 10】 x および y がそれぞれ 1 である請求項 2 に記載の化合物。

【請求項 11】 フラビウイルス科のウイルスは C 型肝炎ウイルス、G B ウイルス、デングウイルス、日本脳炎ウイルス、セントルイス脳炎ウイルス、西ナイルウイルス、または黄熱ウイルスである請求項 10 に記載の化合物。

【請求項 12】 x が 2 または 4 かつ y が 2, 4, または 5 である請求項 2 に記載の化合物。

【請求項 13】 フラビウイルス科のウイルスは C 型肝炎ウイルス、G B ウイルス、デングウイルス、日本脳炎ウイルス、セントルイス脳炎ウイルス、西ナイルウイルス、または黄熱ウイルスである請求項 12 に記載の化合物。

【請求項 14】 w が 1, 2, または 3 かつ z が 0 である請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 15】 w は 1 で y は 2 である請求項 14 に記載の化合物。

【請求項 16】 B は A s である請求項 15 に記載の化合物。

【請求項 17】 A は N a であり C は酸素原子である請求項 16 に記載の化合物。

【請求項 18】 フラビウイルス科のウイルスは C 型肝炎ウイルスである請求項 1, 4, 5, 6, 9, および 17 のうちいずれか一項に記載の化合物。

【請求項 19】 フラビウイルス科のウイルスは G B ウイルス、デングウイルス、日本脳炎ウイルス、セントルイス脳炎ウイルス、西ナイルウイルス、または黄熱ウイルスである請求項 1, 4, 5, 6, 9, および 17 のうちいずれか一項に記載の化合物。

【請求項 20】 有効な量のリバビリンと同時に投与されることを特徴とする請求項 1, 4, 5, 6, 9, および 17 のうちいずれか一項に記載の化合物。

【請求項 21】 有効な量のインターフェロン と同時に投与されることを特徴とする請求項 1, 4, 5, 6, 9, および 17 のうちいずれか一項に記載の化合物。

【請求項 22】 有効な量のリバビリンと同時に投与されることを特徴とする請求項 21 に記載の化合物。

【請求項 23】 下式の化合物

A w B x C y D z

(式中、A は L i, N a, K, R b, または C s ; B は A s, S b, または B i ; C は酸素原子または硫黄原子 ; D はモノデント酸配位子、ビデント酸配位子、またはトリデント酸配位子 ; w は 0, 1, 2, または 3 ; x は 1, 2, 3, または 4 ; y は 0, 1, 2, 3, 4, または 5 ; z は 0, 1, 2, 3, 4, または 5 ; および y および z のうち少なくとも 1 つは 0 でない)と、

リバビリンと、

リバビリンと化合物とが各々フラビウイルス科のウイルスによる感染症を治療するのに有効な量であることと、から成る医薬組成物。

【請求項 24】 化合物は A s₂O₃, N a A s O₂, または S b₂O₃ である請求項 23 に記載の組成物。

【請求項 25】 下式の化合物

A w B x C y D z

(式中、A は L i, N a, K, R b, または C s ; B は A s, S b, または B i ; C は酸素原子または硫黄原子 ; D はモノデント酸配位子、ビデント酸配位子、またはトリデント酸配位子 ; w は 0, 1, 2, または 3 ; x は 1, 2, 3, または 4 ; y は 0, 1, 2,

3, 4, または 5; z は 0, 1, 2, 3, 4, または 5; および y および z のうち少なくとも 1 つは 0 でない) と、

インターフェロン と、

インターフェロン と化合物とが各々フラビウイルス科のウイルスによる感染症を治療するのに有効な量であることと、から成る医薬組成物。

【請求項 26】 化合物は As_2O_3 , $NaAsO_2$, または Sb_2O_3 である請求項 25 に記載の組成物。

【請求項 27】 前記感染症を治療するために有効な量のリバビリンからさらに成る請求項 26 に記載の組成物。

【請求項 28】 化合物は As_2O_3 , $NaAsO_2$, または Sb_2O_3 である請求項 27 に記載の組成物。

【請求項 29】 下式の化合物

$A_w B_x C_y D_z$

(式中、A は Li, Na, K, Rb, または Cs; B は As, Sb, または Bi; C は酸素原子または硫黄原子; D はモノデント酸配位子、ビデント酸配位子、またはトリデント酸配位子; w は 0, 1, 2, または 3; x は 1, 2, 3, または 4; y は 0, 1, 2, 3, 4, または 5; z は 0, 1, 2, 3, 4, または 5; および y および z のうち少なくとも 1 つは 0 でない) と、

リバビリンと、

化合物とリバビリンとが各々フラビウイルス科のウイルスによる感染症を治療するのに有効な量であることと、から成るフラビウイルス科のウイルスによる感染症を治療するためのキット。

【請求項 30】 化合物は As_2O_3 , $NaAsO_2$, または Sb_2O_3 である請求項 29 に記載のキット。

【請求項 31】 フラビウイルス科のウイルスは C 型肝炎ウイルスである請求項 29 に記載のキット。

【請求項 32】 フラビウイルス科のウイルスは GB ウイルス、デングウイルス、日本脳炎ウイルス、セントルイス脳炎ウイルス、西ナイルウイルス、または黄熱ウイルスである請求項 29 に記載のキット。

【請求項 33】 下式の化合物:

$A_w B_x C_y D_z$

(式中、A は Li, Na, K, Rb, または Cs; B は As, Sb, または Bi; C は酸素原子または硫黄原子; D はモノデント酸配位子、ビデント酸配位子、またはトリデント酸配位子; w は 0, 1, 2, または 3; x は 1, 2, 3, または 4; y は 0, 1, 2, 3, 4, または 5; z は 0, 1, 2, 3, 4, または 5; および y および z のうち少なくとも 1 つは 0 でない) と、

インターフェロン と、

化合物とインターフェロン とが各々フラビウイルス科のウイルスによる感染症を治療するのに有効な量であることと、から成るフラビウイルス科のウイルスによる感染症を治療するためのキット。

【請求項 34】 化合物は As_2O_3 , $NaAsO_2$, または Sb_2O_3 である請求項 33 に記載のキット。

【請求項 35】 フラビウイルス科のウイルスは C 型肝炎ウイルスである請求項 33 に記載のキット。

【請求項 36】 フラビウイルス科のウイルスは GB ウイルス、デングウイルス、日本脳炎ウイルス、セントルイス脳炎ウイルス、西ナイルウイルス、または黄熱ウイルスである請求項 33 に記載のキット。

【請求項 37】 前記感染症を治療するために有効な量のリバビリンからさらに成る請求項 33 に記載のキット。

【請求項 38】 容器と、

下式の化合物

$A_w B_x C_y D_z$

(式中、AはLi, Na, K, Rb, またはCs; BはAs, Sb, またはBi; Cは酸素原子または硫黄原子; Dはモノドント酸配位子、ビドント酸配位子、またはトリドント酸配位子; wは0, 1, 2, または3; xは1, 2, 3, または4; yは0, 1, 2, 3, 4, または5; zは0, 1, 2, 3, 4, または5; およびyおよびzのうち少なくとも1つは0でない)と、

容器に添付されるフラビウイルス科のウイルスによる感染症の治療のための化合物の投与について表示する説明文とから成る包装製品。

【請求項39】 化合物は As_2O_3 , $NaAsO_2$, または Sb_2O_3 である請求項38に記載の包装製品。

【請求項40】 フラビウイルス科のウイルスはC型肝炎ウイルスである請求項38に記載の包装製品。

【請求項41】 フラビウイルス科のウイルスはGBウイルス、デングウイルス、日本脳炎ウイルス、セントルイス脳炎ウイルス、西ナイルウイルス、または黄熱ウイルスである請求項38に記載の包装製品。